對塩菴蒼虬句集

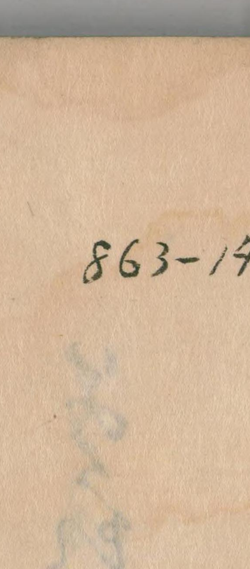
乾

863
2
146

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146

ガラス使用

863-146



国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146

ガラス使用

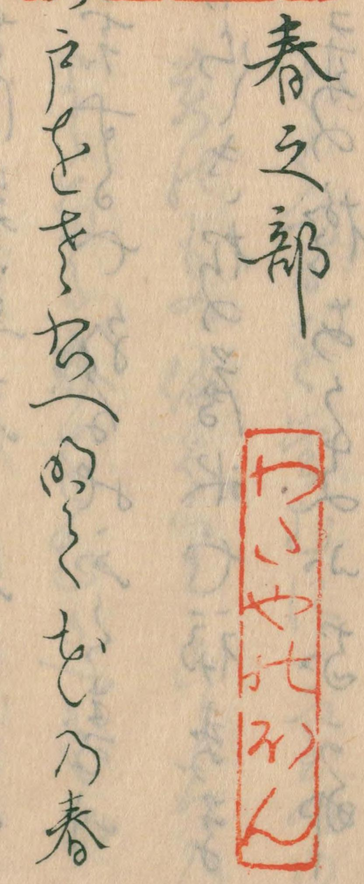
對塩菴蒼虬句集

春之部

国立国会図書館

わふやけれん

常の戸をきたへ明くも乃春
たちこそのまよりみえしよりの春
元朝やよつゝこみしの食
えなやなをさしむるなふ山



国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146
ガラス使用

ひと恵乃隠めも見るしおのらん
松かさしも万代なと産を挟く朱
さのこせに先蒸素しふく東芋
ひとつ実するや鈴なれふく素艸
志ならしきこ松の蔭氷や福東芋
蓬萊の橋あらまふ小家の卵
貫ひ出をせぬさらさ之産の老
古稀れ影を所ふ

ひとつ清しものなかりしやけれ春
阿田川乃流まてるあらひ嗽
そさつ日を望むに一室の内
茶れもの備ちまさけるを乃
ましなる春をむかへて
若松ある志をもこれてもれ老
家治の第四きてる我迎ふ
先明ましのみあるなりに家の春

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146
ガラス使用

黄昏やさくなきまゝ雄つくひ
うくりれ此川浪ふるとこれが
昔此ハ浪も又ゆるたゞ青葉
うるひまのゆふ嶋ゆや朱雀口
昔やとなりまゝ来て陳此入
うくりけやふるゝ紅のうく
ひとゝやこうくひきてゆる境葉
ちらくと昔きくやふるの黒

重昆雄にて

うくひきや祿氣りの川木の昏
黄入や梅ほのつられやきをに
やふ入まいたれてあむ持佛が
黄入此なくしとふるやふる板
山水のたしまとまりやう鬼のむ
鳥此梅およそ一里といふところ
人此見るゝ表なりけり即後此梅

ほとゝ来るけやこゝより梅のむ
傘の所ふるゝ梅やこゝ丸の花
近よれそまたらにありねさとの梅
うめ林をさ嶂わるゝからしかな
しら梅をみしも添ちさ蕚にけり
うめ提くて通るやはさしも却れ人
梅ひと木ゆふ山ちらくゝゆるや
梅れをものにかく枕ぬけしきか

山るやきゝとくれもゝ梅乃を
梅明やふかけ乃柴も洲時ら
其中に寒ある家やこめのを
菊川やこゝら戸くれこゝめのを
清ゝみのゝ遠乃も見る寺雖のこめ
世外乃新をさらしは月と梅
きさき乃をく冴をくゝりけり夜と梅
ことけしさかりれ産や月と梅

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146　ガラス使用

まゝ梅也月れゆりもなきこゑまも
昔れ家乃垣根さし木
せし梅のやうこそ老のみれ
とゝかまてなつまてく
梅のみよそにたとらぬことりかな
鮮乃逆そ二本なりけれたち椿
たる中れをのおもしきまつさき
鶯れやとるなれ梅も咲にけり

住て居て梅まつ也分戸の夜乃童
連翹乃葉ぞおもしねとをれとも
連翹に出たつこそけれしめうまふ
ぬまし葉の習しやたる乃ゆき
黄なる乃なかめとなくやまの色
いつくれて水田乃こくれたる月
玉ゑも井手りわらなる春乃月
けれのいやしきおもてまの月

[illegible]

豆腐屋もまゐらるる春の月

弁乃美に袖はそれそめて春の月

鍋あらふ水をもてらすもちる此月

くれしこれも紙にしぼりぬ春の月

一井寺にて

枝にまをそなへ置くしるべ春の月

山乃井にあらはせし紙月

山水のなにこゑおもろ月

柴漬を乃やとそいつとり紙月

引しなやそのまゝの白浪月

紙月春の夢のあふ九條家

たる乃おに乳のまりの新雲ヶ桶

春のあやめふさしめし田舞うり

春のあれものにそちとり此乃芦

猫乃立一る兵衛にふ祝きなり

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146
ガラス使用

ふるあり為るまゝのふはくに雖
以入とし也雖いたらぬ樹ら卯
分樹ふとゝ為る時時乃小家ゝ
中しくに相深く見ゆるはくらゝ
居るよりさしやらぬ樹あり樹を
紫ふなるなといのくれくふさくら
重さくらさしをよりも數なり
家ことにふはちるや桶の水

ふはや井をほ言のひとをに
ふはそ數なものを水ゝる滴
葉をみ免る人乃言時
乃あくらに信ゝるをゝ詩て
ふみきを入口にしく花れ家
ちよくなりとすれをもへ面は花
紬杖のはゝりもちにり松ゝ家
清ひとくすゝけ出りや粧葉掃

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146　ガラス使用

夏之部

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146
ガラス使用

人のけ来ちひきくなりて栗子哥
夜あらぬ路のゆふりや栗子哥
栗子哥ちらくや梅栗乃所逢し
かむことゆ学めつるきひるの月
日れさせいたらひありけり栗子哥
あのさともとしよりと多し栗子哥
きこゆやそれなし喩て栗子哥
廣原や一里むしゆる杜若

杜若弁乃ちつれさしてみくおる
ともしらのきこゆぬむや杜若
みしら根乃むさ咲けり杜若
杜うえに咲をひうけて杜若
杜木を扱ふふ巾やつきつる
ゆうけや咲しほとらひ栗子む
杜若なともあろふそ由ひ乃海
栗子むひらくや杜のひと栗

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146　ガラス使用

涼しさやしらぬ梅ゝ本
しらしはや夏菊一本をれてある
涼しはにくせの住る川田ゝ本

大は梅林よく

梅さくと涼し木の間に海を見る
菓ゝらなとは水ふ持てくれ遠
暑ゝはやふ法とつゝる葬地の陰
暑ゝはやゝ降ゝる蟬と居ゝ手なる

相気よきくとこゝらやむ暑ゝ本
暑ゝはや相鳴たる土ゝ本ゝ春
生ゝ水に猶ゝ生ゝて暑ゝ本
夕ゝとゝ乃あとてくるゝや昔の春
方のうへのゆゝてたちなれや地の鳴
夕ゝ生れるゝやもゝとの夕神ゝ
ゆゝてたちや新のまゝ氷こゝと
待まれし夕ゝ生そなへなりけり

863
2
146

木さむ乃ゆくらいこゝろの路
鶯も青をゆくとて乃ゆくとの事
たしあ種乃ちらしゆくみやの路
こまくに居る人をわてゝ此路
けしきこゝ杉の木の乃ゆる也後川

幸崎にて

幸崎なくなれ何にまて麦の秋
先後乃十七回忌をまつ事

と事一枝のむれりけふ
して一蛭の魚の鱠にむせふ
夜学のさしろに寄きたるなり

先後二十五回忌

ありくと赤子乃こゝへまた立日本
〃 二十三回忌
めたらしき手向なりゆり法し

14170

国立国会図書館　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』 請求記号 863-146

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『対[トウ]菴蒼[キュウ]句集 2巻』　請求記号 863-146

ガラス使用